

2016年1月21日

リコーリース株式会社

<コード番号:8566 東証第1部>

「健康経営銘柄 2016」に選定されました

リコーリース株式会社(東京都江東区、代表取締役社長 松石秀隆)はこのたび経済産業省と東京証券取引所(以下 東証)が共同で取り組む「健康経営銘柄 2016」に選定されましたので、お知らせします。

この「健康経営銘柄」は、経済産業省と東証が、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業を、東証上場企業の中から選定し、企業による「健康経営」の取り組みを促進することを目指すもので、日本再興戦略に位置づけられる「国民の健康寿命の延伸」に向けた施策の一つです。



※「健康経営」は、特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標です。

【当社の取り組み】

リコーリースでは、「社員一人ひとりを尊重し、豊かさの充実に努め、いきいきと働ける環境をつくる」という基本姿勢のもと、社員の健康配慮に向けてさまざまな取り組みを行っています。

(1) 定期健康診断受診率 100%

2012年以降、社員の定期健康診断受診率は100%を継続しています。また再検査となった場合の社員への案内も100%実施し、治療・要注意の社員に対しては、産業医による面談と有所見書による指示も実施しています。

(2) 社員参画による衛生委員会の実施(月1回)

社員から選出した社員代表、産業医、保健師等で組織された衛生委員会が中心となり、健康診断や再検査のフォロー状況及び長時間労働者等の報告や社員からの要望、産業医からのトピックスの紹介を行っています。

(3) 「健康セミナー」の開催

生活習慣病予防のための「健康セミナー」を開催しています。血液画像診断や骨密度測定等の定期健診とは異なる角度で健康チェックを行い、健康改善につなげています。

(4) 婦人科検診の実施

社員の過半数が女性ということから、乳がん等の検診を実施しています。乳がん検診受診率は84%と、多くの社員が受診しています。

(5) 長時間労働の防止 ～残業低減・有給休暇取得の促進～

管理職向け労務管理研修の実施や週1回のノー残業デーの実施、残業時間が一定時間を超えると本人と上司にアラートメールを送信する「長時間勤務&ヘルスサポートDB」を導入し、健康管理セルフチェックを実施するなど、様々な取り組みを行っています。また、長時間労働に起因する健康リスクを低減させるため、必要に応じ産業医による面談も行っています。これらの結果、低水準の残業時間を維持しています。

また、年6回必ず有給休暇を取得しなければならない「記念日休暇制度」や「時間年休」の導入等により有給休暇取得を促進し、健康でメリハリのある働きができる労働環境づくりを目指しています。

なお当社は、2014年日本政策投資銀行(DBJ)よりDBJ健康経営格付で最高ランクを取得しました。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

リコーリース株式会社 経営企画部 渥美、中野

Tel: 03-6204-0608 / Fax: 03-6204-0522

Email: ir@rle.ricoh.co.jp

URL: <http://www.r-lease.co.jp/>

| リコーグループについて |

リコーグループは、オフィス向け画像機器、プロダクションプリントソリューションズ、ドキュメントマネジメントシステム、ITサービスなどを世界約200の国と地域で提供するグローバル企業です(2015年3月期リコーグループ連結売上は2兆2,319億円)。

人と情報のかかわりの中で新しい価値を生む製品、ソリューション、サービスを中心に、デジタルカメラや産業用の製品など、幅広い分野で事業を展開しています。高い技術力に加え、際立った顧客サービスや持続可能社会の実現への積極的な取り組みが、お客様から高い評価をいただいています。

想像力の結集で、変革を生み出す。リコーグループは、これからも「imagine. change.」でお客様に新しい価値を提供していきます。

より詳しい情報は、下記をご覧ください。

<http://jp.ricoh.com/>